

専門分野を生かした職務関連の社会貢献等について

Other Relative Activities

1. 講義

合田幸広, 生活に即した薬学「レギュラトリーサイエンス」の実践 健康食品の品質とニセ薬の話を中心に, 昭和薬科大学 (2018.9.26)

合田幸広, 「食薬区分と生薬」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2018.11.16)

伊豆津健一, 「錠剤などの生物学的同等性」, 国立保健科学院・薬事衛生管理研修 (2018.6)

宮崎玉樹, 「医薬品の安定性」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2018.5.22)

山本栄一, 「低分子創薬における物性研究」, 昭和大学薬学部 (2018.12.8)

石井明子, 「バイオ医薬品の品質保証」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2018.5.18)

橋井則貴, 「バイオ医薬品の品質評価」, 近畿大学大学院薬学研究科講義 (2018.5.19)

石井明子, 「バイオ医薬品の研究開発とレギュラトリーサイエンス」, 高崎健康福祉大学薬学部講義 (2018.7.11)

石井明子, 「バイオ医薬品の品質安全性確保」大阪大学大学院薬学研究科講義 (2018.7.20)

日向昌司, 「バイオ医薬品の製造と品質管理」, 明治薬科大学薬学部特別講義 (2019.1.8)

袴塚高志, 「生薬及び漢方製剤等の品質確保について」, 国立保健医療科学院平成30年度薬事衛生管理研修 (2018.5.30)

Kikura-Hanajiri R. “Changes in the prevalence of new psychoactive substances and their legal status in Japan”, JICWELS Regulatory Systems on Ensuring Access to Quality Medicines (2018.7.17)

袴塚高志, 「薬局方の生薬規格－日本薬局方の改正点を中心に－」, 平成30年度漢方薬・生薬研修会 (2018.9.9)

花尻 (木倉) 瑠理, 「法規制薬物及び麻薬原料植物」, 平成30年度漢方薬・生薬研修会 (2018.9.9)

Hakamatsuka T. “Standards and Guidelines for Crude Drug/Kampo Medicine Marketing Approval”, PMDA-ATC Quality Control (Herbal Medicine) Seminar 2018 (2018.10.23)

Hakamatsuka T. “Japanese Pharmacopoeia (JP), Japanese Standards for Non-Pharmacopoeial Crude Drugs (Non-JP Crude Drug Standards)” PMDA-ATC Quality Control (Herbal Medicine) Seminar 2018 (2018.10.23)

花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグによる健康被害を防ぐために」, 国立保健医療科学院 院外研修プログラム (2018.11.5)

花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの現状」, 平成30年度指定薬物分析研修会議 (2019.1.11)

最所和宏, 花尻瑠理, 「いわゆる健康食品中に違法に添加されている強壮系医薬品成分の現状」, 平成30年度指定薬物分析研修会議 (2019.1.11)

田中理恵, 「指定薬物と危険ドラッグ製品の分析について」, 平成30年度指定薬物分析研修会議 (2019.1.11)

緒方潤, 「乱用が危惧される植物系製品の基原植物について」, 平成30年度指定薬物分析研修会議 (2019.1.11)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞 (細胞加工製品) の品質」, 名古屋市立大学大学院講義 (2018.4.11)

佐藤陽治, 「再生・細胞医療に用いられる細胞の品質・安全性評価」, 大阪大学大学院講義 (2018.7.13)

佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論」, 東京大学大学院講義 (2018.10.1)

佐藤陽治, 「細胞加工製品 (再生医療等製品) の品質・安全性評価の上での新しい考え方」, 大阪大学MEIプロフェッショナルコース (2018.12.1)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に使用する細胞加工製品 (再生医療等製品) の品質・安全性評価」, 横浜市立大学大学院 (2018.12.3)

三浦巧,「再生医療・細胞治療に使用する細胞の品質・安全性評価に関わる試験法について」,鳥取大学再生医療学セミナー(2019.2.25)

内藤幹彦,「標的医薬品の創製」,平成30年度昭和薬科大学講義(2018.6.14)

井上貴雄,「核酸医薬－実用化までの道のり－」,大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義(2018.7.6)

井上貴雄,「革新的医薬品のレギュラトリーサイエンス－核酸医薬開発を例として－」,徳島大学薬学部 基礎医療薬学2,レギュラトリーサイエンス特別講義(2018.10.26)

内田恵理子,「遺伝子治療概論」,横浜市立大学大学院後期特別講義II(2018.11.12)

酒井信夫,「生物資源科学特論I 食物アレルギーに関するレギュラトリーサイエンス研究」,日本大学大学院(2018.6.11)

河上強志,「公衆衛生学 家庭用品の安全に関する法規制と実際の健康被害について」,名城大学薬学部(2018.7.2)

五十嵐良明,「生活関連化学物質の安全対策」,横浜市立大学大学院生命医科学研究科生命医科学特別講義(2018.11.5)

内野正,「職業講話－輝きを求めて:国家公務員及びSSH卒業生の親としての経験から－」,神奈川県立希望ヶ丘高等学校職業ワークショップ(2018.11.7)

内野正,「皮膚毒性及び動物実験代替法について」,日本動物実験代替法学会出前講義・千葉大学薬学部(2019.1.17)

小林憲弘,「機器分析～理論(IC・原子吸光・ICP・ICP/MS)～」,平成30年度水道技術者専門別研修会(水質管理部門)(2019.1.23)

小林憲弘,「機器分析～理論(GC・GC/MS・HPLC・LC/MS)～」,平成30年度水道技術者専門別研修会(水質管理部門)(2019.1.23)

内野正,「動物実験代替法及び代替法学会について」,日本動物実験代替法学会出前講義・千葉県立柏高等学校(2019.1.25)

穂山浩,「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」,大阪大学大学院薬学研究科(2018.6.22)

穂山浩,「食物アレルギーについて」,千葉大学薬学部(2018.7.2)

根本了,「食品中に残留する農薬等の規制と公示試験法について」,国立保健医療科学院平成30年度短期研修食肉衛生検査研修(2018.7.3)

穂山浩,「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」,千葉大学薬学部(2018.7.9)

穂山浩,「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」,大阪成蹊大学専門演習(2018.10.26)

穂山浩,「食品中アレルゲンのリスクアナリシス」,東京農工大学工学部(2018.11.8)

穂山浩,「レギュラトリーサイエンスについて」,藤田医科大学(2018.11.26)

穂山浩,「食品分野のレギュラトリーサイエンス」,東京大学農学部(2018.12.17)

穂山浩,「食品添加物のこと」,上智大学地球環境学研究科(2019.1.9)

穂山浩,「食品分析学」,麻布大学生命・環境科学部(2019.1.11)

佐藤恭子,「添加物の規格I」,一般財団法人日本食品添加物協会 平成30年度食品衛生管理者登録講習会(2018.8.17)

佐藤恭子,「第9版食品添加物公定書改正の概要」,一般財団法人食品衛生登録検査機関協会 平成30年度食品添加物研修会(2018.9.21)

佐藤恭子,「食品添加物の開発と規制」,東京農工大学大学院工学府講義(2018.11.1)

佐藤恭子,「栄養化学8」,千葉大学薬学部講義

(2019.1.25)

多田敦子,「添加物の規格II」,一般財団法人日本食品添加物協会 平成30年度食品衛生管理者登録講習会 (2018.8.17)

多田敦子,「食品中の食品添加物分析法の改訂に向けて」,一般財団法人食品衛生登録検査機関協会 平成30年度食品添加物研修会 (2018.9.21)

久保田浩樹,「分析法概論I」,一般財団法人日本食品添加物協会 平成30年度食品衛生管理者登録講習会 (2018.8.16)

建部千絵,「分析法概論II」,一般財団法人日本食品添加物協会 平成30年度食品衛生管理者登録講習会 (2018.8.16)

建部千絵,「第9版食品添加物公定書 タール色素試験法の改正と今後の取り組み」,食用色素作業部会 (2018.7.26)

杉本直樹,「有機化合物の定量分析とその精度」,立命館大学薬学部 (2018.12.19)

杉本直樹,「添加物の規格III」,一般財団法人日本食品添加物協会 平成30年度食品衛生管理者登録講習会 (2018.8.20)

杉本直樹,「既存添加物の規格基準,分析法」,日本大学 (2018.12.19)

六鹿元雄,「添加物の規格IV」,一般財団法人日本食品添加物協会 平成30年度食品衛生管理者登録講習会 (2018.8.20)

六鹿元雄,「食品用器具・容器包装における法規制」,東京農工大学 (2018.11.22)

六鹿元雄,「食品器具・容器包装の規制」,日本大学 (2018.12.13)

六鹿元雄,「食品用器具・容器包装の材質とその特性」,実践女子大学 (2018.12.19)

阿部裕,「乳幼児用玩具の規制および乳幼児用玩具に関する研究」,日本大学 (2018.12.13)

朝倉宏,「カンピロバクター食中毒の発生状況と想定される汚染低減対策」国立保健医療科学院平成30年度食肉衛生検査研修 (2018.6.13)

朝倉宏,「カンピロバクター食中毒の発生状況,分子疫学並びに低減対策について」国立保健医療科学院平成30年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2018.10)

朝倉宏,「レギュラトリーサイエンス:食品有害微生物の危害管理」,東京農工大学 (2018.10)

朝倉宏,「獣医学実践実習:Epidemiology of Foodborne EHEC and Campylobacter Infection」,岐阜大学大学院 (2018.12)

佐々木貴正,「カンピロバクター食中毒の発生防止のためのレギュラトリーサイエンス」岐阜大学大学院連合獣医学研究科 (2018.6)

佐々木貴正,「畜産農場における抗菌性物質使用と薬剤耐性」農林水産省家畜衛生研修会(病性鑑定(細菌部門)) (2018.10)

佐々木貴正,「Regulatory science for controlling foodborne salmonellosis and campylobacteriosis」農林水産省「サルモネラ属菌の分離・同定・血清型タイピングトレーニングコース」(2018.10)

大城直雅,「マリンバイオトキシン」明治薬科大学特別講義 (2018.4)

大城直雅,「マリンバイオトキシンによる食中毒」国立保健医療科学院平成30年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2018.10)

大城直雅,「貝類による食中毒」明治薬科大学平成30年度市民大学講座「自然と健康を考える」(2018.12)

上間匡,「ウイルス性食中毒」国立保健医療科学院平成30年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2018.10)

工藤由起子,「病原大腸菌による食中毒と食品の検査法について」,国立保健医療科学院・平成30年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2018.10.24)

工藤由起子,新井沙倉,大屋賢司,「厚生労働省通知法による腸管出血性大腸菌検査及び食中毒検査への

応用に関する実習」, 公益社団法人日本食品衛生協会 (2018.11.30)

菊池裕, 「健康薬学コース特別講義」, 明治薬科大学 (2018.4.27)

菊池裕, 「レギュラトリーサイエンス講座 薬食衛生微生物分野講義」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2018.6.15)

渡辺麻衣子, 「食品真菌の検査－異物としての真菌とその同定－」, 平成30年度短期研修 食品衛生危機管理研修 (国立保健医療科学院) (2018.10.24)

渡辺麻衣子, 「食品・環境に分布する真菌とその検査」平成30年度岩手大学農学部食品衛生学実習 (岩手大学) (2018.7.31)

大西貴弘, 「米国におけるSTEC検査について」, 平成30年度食肉及び食鳥衛生技術研修, (2019.1.21)

大西貴弘, 「2018 年米国農務省FSIS ラボラトリーセミナー参加報告」, 対米, 対EU 及び対台湾輸出食肉担当者研修, (2019.2.28)

大西貴弘, 「Food Poisoning Caused by *Kudoa septempunctata*」, インドネシア国別研修「食品安全危機管理研修」, (2019.3.7)

大西貴弘, 「寄生虫による新しい食中毒」, 岐阜大学・獣医学特別実験Ⅲ 実践実習, (2018.12.6)

大西貴弘, 「魚肉における原因不明食中毒の究明と対策」, 平成30年度食品衛生危機管理研修, (2018.10.16)

安達玲子, 「基礎から学ぶ特定原材料表示 ～導入の背景から新しい表示法における取扱いまで～」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所 食物アレルギー検査実習 (2018.7.4)

近藤一成, 「きのこによる食中毒」平成30年度短期研修 食品衛生危機管理研修 (2018.10.16)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 東京農業大学 (2018.4.18, 2018.4.25)

畠山智香子, 「食の安全と薬学」, 東北大学薬学部 (2018.6.15)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 国立保健医療科学院平成30年度食品衛生危機管理研修 (2018.10.18)

畠山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 第48期食品保健指導士養成講習会 (2018.10.27)

畠山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 宮城大学食産業学部 (2018.12.7)

畠山智香子, 「安全な食べものってなんだろう?」, むさしの消費者スクール「食の安全について学ぶ」 (2019.1.10)

渡邊敬浩, 「国際対応に必要な分析の基礎知識」, 厚生労働省平成30年度食品安全行政の国際化研修 (2018.7.20)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－サンプリング－」, 厚生労働省平成30年度食品安全行政の国際化研修 (2018.7.25)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－分析法への要求と分析結果の品質保証－」, 厚生労働省平成30年度食品安全行政の国際化研修 (2018.7.27)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 厚生労働省 医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部 平成30年度厚労省インターンシップ (2018.8.6, 2018.8.22)

窪田邦宏, 「食品安全情報と食品媒介感染症被害実態の推定」, 国立保健医療科学院 平成30年度食品衛生危機管理研修 (2018.10.17)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 国立保健医療科学院 平成30年度地域保健臨床研修 院外研修プログラム (2018.11.5)

登田美桜, 「食品安全のレギュラトリーサイエンス」, 徳島大学薬学部 (2018.12.7)

中村亮介, 「医薬品の重篤副作用と発症関連バイオマーカー」, 東北大学 (2018.7.5)

中村亮介, 「医薬品開発と重篤副作用～皮膚毒性を中心に～」, 東北大学 (2018.12.17)

齋藤嘉朗, 「重篤副作用に関するゲノム薬理学的研究

の成果とその市販後安全対策への応用」, 千葉大学 (2018.6)

齋藤嘉朗, 「ファーマコゲノミクスに関する日米欧のガイダンスについて」, 千葉大学 (2018.6)

齋藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院 (2018.12)

齋藤嘉朗, 「医薬品開発における肝毒性評価」, 東北大学 (2019.1)

齋藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学 (2019.1)

青木良子, 「医薬品の安全使用のために, 海外の副作用情報を活用する」, 東北大学 (2018.11.22)

北嶋聡, 毒性学研究の最先端の話から: 毒性学分野における獣医師の重要性, 東京大学農学部獣医学専修「毒性学実習」特別講義 (2018.12.11)

諫田泰成, 「ヒトiPS細胞を用いたレギュラトリーサイエンス研究」, 広島大学大学院医歯薬保健学研究科講義 (2018.5.27)

石田誠一, 特別講義Ⅲ (先端医療・健康科学特論), 崇城大学大学院講義 (2018.8.7-8)

諫田泰成, 「基礎研究からレギュラトリーサイエンスへ」, 東京大学薬友会キャリアガイダンス (2018.10.20)

諫田泰成, 「ヒトiPS細胞を用いたレギュラトリーサイエンス研究」, 昭和薬科大学薬学部講義 (2018.11.12)

諫田泰成, 「ヒトiPS細胞を用いたレギュラトリーサイエンス研究」, 豊橋技術科学大学講義 (2018.11.14)

諫田泰成, 「医薬品の安全性のためのレギュラトリーサイエンス研究」, 徳島大学講義 (2018.12.7)

諫田泰成, 「iPS細胞を使用した心毒性のバリデーション」, 岡山大学毒性研究会 (2019.1.31)

石井雄二, 「DNA付加体の測定と化学物質のリスク評価への応用」, 星薬科大学大学院 (2018.11.16)

杉山圭一, 「栄養保健」, 東京医科歯科大学 (2018.6)

本間正充, 「ゲノム安全学—遺伝毒性学概論—」, 大阪大学 (2018.6)

広瀬明彦, 「化学物質の定量的リスク評価手法<レギュラトリーサイエンス講座>」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2018.7.27)

広瀬明彦, 「微量曝露化学物質のリスク評価手法とその実例<基礎衛生薬学特論>」, 東京理科大学大学院薬学研究科 (2018.12.13)

広瀬明彦, 「化学物質のレギュラトリーサイエンス<化学物質の健康影響リスク評価事例について>」, 城西大学大学院薬学研究科 (2019.3.7)

2. 講演

合田幸広, 「医薬品 (和漢薬) の品質保証と定量NMR」, 和漢研セミナー (2018.9.10)

合田幸広, 「天然物医薬品及び機能性表示食品の品質保証」, 第55回植物化学シンポジウム (2018.11.20)

合田幸広, 「定量NMRと日本薬局方」, JASIS関西2019 (2019.2.7)

合田幸広, 「創薬基盤推進研究事業の全体概要と国衛研のミッション・組織・建物配置について」, 平成30年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表 (2019.2.21)

伊豆津健一, 「ジェネリック医薬品を安心して使うための品質向上の取り組み」, 日本薬学会東海地区特別講演会 (2018.12)

伊豆津健一, 「無菌医薬品の包装完全性及び漏れに関する試験法」, 東京医薬品工業協会 研修講演会 (2018.12.12), 関西医薬品協会 研修講演会 (2018.12.10)

伊豆津健一, 「薬剤師がけん引するジェネリック医薬品の適正使用～医薬品品質情報をいかに活用するか? ～: 公的試験機関における品質の確認と向上に向けたフィードバック」, 日本医療薬学会年会シンポジウム (2018.11.24)

伊豆津健一, 「第十七改正 日本薬局方第二追補について

て」, 日本薬局方教科担当教員会議 (2018.9.22)

伊豆津健一, 「BCSバイオウェーバーと生物学的同等性評価の動向について」, 日本薬剤学会経口吸収FG合宿討論会 (2018.10.30)

伊豆津健一, 「ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動について」, 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 (2018.8.25)

伊豆津健一, 「ジェネリック医薬品「どこが同じでどう違う?」」, 国立医薬品食品衛生研究所・一般公開 (2018.8.1)

宮崎玉樹, 「経皮吸収型製剤の粘着力試験法」, 製剤と添加剤研究会第4回シンポジウム (2018.12.7)

坂本知昭, 「医薬品製造技術の革新的変化がもたらす品質保証体制の今後の展望と製薬プロセス制御のためのテラヘルツ波センシング技術への期待」, テラヘルツビジネスセミナー (2018.10.17)

坂本知昭, 「試験検査における各種バリデーション (HPLC, FT-IRを例に)」, 平成30年度静岡県医薬品・化粧品等品質管理研修会 (2018.11.2)

坂本知昭, 「医薬品GMP省令改正案とGMP分野の今後の展望について」, IPEC-JAPAN Advanced Seminar (2018.12.6)

坂本知昭, 「先端的分析法を用いた製剤開発及び製造工程評価手法の標準化に関する研究」, 平成30年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2019.2.26)

坂本知昭, 佐々木哲朗*, 知久馬敏幸, 「流通医薬品の品質確保に向けたテラヘルツ分光法を用いた医薬品の品質特性評価手法の開発」平成30年度生体医歯工学共同研究拠点共同成果報告会 (2019.3.8)

* 静岡大学

小出達夫, 「ICH品質ガイドラインとQbD 概念とそのエッセンスを振り返る 製造・品質管理における現場のQbD技術論 (リアルタイムリリースの実行等) 及び当局視点」レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 (2019.1.24)

Koide T, "Pharmaceutical evaluation of private import medicines using imaging techniques" German and Japanese perspectives on global substandard and falsified medicines (2019.3.28)

加藤くみ子, 「革新的ナノ医薬品・DDS基幹技術の実用化における評価科学と国際規制活動」, AMED第4回レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2019.2.4)

加藤くみ子, 「一般試験法 2.66元素不純物試験法, 及び参考情報 製剤中の元素不純物の管理」, 公益社団法人東京医薬品工業会 研修講演会 第十七改正日本薬局方第二追補の概略, 元素不純物管理, 及び無菌医薬品の包装完全性について (2018.12.12)

加藤くみ子, 「一般試験法 2.66元素不純物試験法, 及び参考情報 製剤中の元素不純物の管理」, 関西医薬品協会 研修講演会 第十七改正日本薬局方第二追補の概略, 元素不純物管理, 及び無菌医薬品の包装完全性について (2018.12.10)

加藤くみ子, 「第十七改正日本薬局方第二追補収載の新規理化学試験法による医薬品分析」, 日本薬剤師会平成30年度試験検査センター技術研修会 (2018.12.7)

加藤くみ子, 小出達夫, 「ラマンスペクトル測定法」, 第19回日本薬局方に関する研修会 (2018.9.19.26)

石井明子, 「革新的な抗体医薬品創出に関する現状と課題」, バイオファーマジャパン2018特別講演 (2018.4.18)

石井明子, 「がん治療とバイオ医薬品 –がん治療で存在感を増すバイオ医薬品の基礎と最前線–」, ジャパンキャンサーフォーラム2018 くすりの適正使用協議会バイオ医薬品適正使用推進委員会 共催セッション (2018.8.13)

柴田寛子, 「Established Conditionの今後: 規格試験法, AqBd」, 第20回医薬品品質フォーラムシンポジウム (2018.9.11)

原園景, 「一般試験法 6.17 タンパク質医薬品注射剤の不溶性微粒子試験法」, 第19回日本薬局方に関する研修会 (2018.9.19, 2018.9.26)

日向昌司, 「参考情報 宿主細胞由来タンパク質試験法」, 第19回日本薬局方に関する研修会 (2018.9.19,

2018.9.26)

原園景,「日本薬局方 糖鎖試験法とバイオ医薬品の品質確保」,第9回グライコバイオリジクス研究会(2018.10.4)

石井明子,「バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために」,第1部 バイオ医薬品とバイオシミラーの基礎知識」,厚生労働省主催 講習会(2018.10.13, 2018.12.8)

石井明子,「バイオシミラーの基礎と臨床」,千葉県病院薬剤師会南部支部研修会 南房総臨床薬学セミナー(2018.10.18)

石井明子,「バイオシミラー開発に関する現状と課題」,関西医薬品協会 技術研究委員会 (2018.10.23)

日向昌司,「バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために」,第1部 バイオ医薬品とバイオシミラーの基礎知識」,厚生労働省主催 講習会(2018.10.27, 2018.12.15, 2019.1.20, 2019.2.2)

柴田寛子,「バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために」,第1部 バイオ医薬品とバイオシミラーの基礎知識」,厚生労働省主催 講習会(2018.12.8)

柴田寛子,「バイオ医薬品に含まれる凝集体／不溶性微粒子評価方法の現状と課題」,公益社団法人 東京医薬品工業協会第376回局方委員会勉強会 (2019.1.18)

原園景,「バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために」,第1部 バイオ医薬品とバイオシミラーの基礎知識」,厚生労働省主催 講習会(2019.2.2)

柴田寛子,「生物薬品に関連する最新動向ータンパク質医薬品注射剤の不溶性微粒子試験法を中心にー」,JASIS 関西 2019 日本薬局方セミナー (2019.2.7)

柴田寛子,「バイオ医薬品の凝集体／不溶性微粒子試験法」,創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会(2019.2.26)

原園景,「バイオ医薬品の糖鎖試験法」,創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.2.26)

日向昌司,「宿主細胞由来タンパク質試験法」,創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.2.26)

石井明子,「次世代バイオ医薬品の効率的実用化推進のための品質評価法の開発と標準化に関する研究」,創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.2.26)

橋井則貴,「高分子薬(抗体医薬)に関するバイオアナリシス手法の標準化」,創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.2.26)

政田さやか,「薬用植物を基原とする健康食品の品質評価に関する研究」,日本食品化学学会第25回学術大会(2018.5.17)

袴塚高志,「天然物医薬品の製造販売承認制度に関する最近の話題」,第4回山科植物資料館セミナー(2018.6.23)

Kikura-Hanajiri R. "Detection Technology and Management of New Psychoactive Substances in East Asia - from Japan's Experiences", APEC International Conference on Trend and Detection Technology of New Psychoactive Substances (2018.6.26)

丸山卓郎,「生薬の遺伝子解析とレギュレーション」,薬用植物フォーラム2018 (2018.7.10)

袴塚高志,「天然物医薬品の承認制度とエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの可能性」,平成27年度～平成29年度 AKPS共同研究成果報告会 (2018.7.13)

袴塚高志,「日本における植物性医薬品の開発と規制」,第35回和漢医薬学会学術大会シンポジウム (2018.9.1)

袴塚高志,「天然物医薬品に関する厚生労働施策を支援・リードするレギュラトリーサイエンス研究」,第21回天然薬物研究方法論アカデミー学術集会 (2018.9.3)

Kikura-Hanajiri R. "Analytical Techniques for Testing Drugs in Illegal Products", 2018 APEC Workshop on Food Safety and Food Adulterated with Drugs (2018.9.13)

内山奈穂子,「無承認無許可医薬品及び健康食品等に関する分析事例について」,平成30年度「地域保健推進事業」地方衛生研究所全国協議会 関東・甲・信・静ブ

ロック会議 (2018.9.18)

Hakamatsuka T. “Recent Progress in Approval Systems for Herbal Medicines in Japan”, The 8th Global Summit on Regulatory Science Conference (GSRS2018), Risk/Benefit of Dietary Supplements and Herbal Medicine in the Era of Data Science (2018.9.26)

袴塚高志, 「日本薬局方に関する最近の話題～日本薬局方第17改正第一追補及び第二追補～」, 第3回日中薬局方(生薬等)検討会 (2018.10.16)

袴塚高志, 「漢方製剤, 生薬製剤に係る最近の話題について」, 第55回全国薬事指導協議会 (2018.10.19)

Hakamatsuka T. “Recent Topics on Herbal Medicines in Japan (2017-2018)”, FHH 16th Standing Committee Meeting (2018.10.30)

袴塚高志, 「漢方製剤の品質確保に資する局方収載と承認基準」, 平成30年度国立保健医療科学院 院外研修プログラム (2018.11.5)

袴塚高志, 「生薬・漢方製剤に関する最近の話題」, 平成30年度日本生薬学会関西支部秋期講演会 (2018.11.6)

袴塚高志, 「一般用生薬製剤・漢方製剤の承認基準と安全使用について」, 日本漢方生薬製剤協会安全性委員会第100回委員会記念講演会 (2018.11.14)

政田さやか, 「機能性表示食品の分析と課題」, 第55回植物化学シンポジウム (2018.11.20)

Hakamatsuka T. “Regulatory Science for Assurance of Safety, Efficacy and Quality of Herbal Medicines”, 10th KSP-JSP-CSP Joint Symposium, Session A: Biological Evaluation and Regulation of Natural Medicine (2018.11.22)

Hakamatsuka T. “Current Status and the Future of the Forum for the Harmonization of Herbal Medicine (FHH)”, 2nd Annual Academic Meeting on National Herbal Medicines Herbal Extracts and Quality Control: Challenges of Thai Herbal Industry (2018.11.26)

袴塚高志, 「局方生薬に関する最近の話題と天然物医薬品のリスク区分について」, 第34回生薬に関する懇談会

(2018.12.2)

袴塚高志, 「生薬製剤・漢方製剤の開発に資する承認基準・ガイドラインについて」, 第47回生薬分析シンポジウム (2018.12.4)

花尻(木倉)瑠理, 「レギュラトリーサイエンスと質量分析－薬物による健康被害を防ぐために－」, 日本質量分析学会第152回関東談話会 (2019.3.7)

Kikura-Hanajiri R. “Substance abuse and addiction from basic science to regulatory science-An overview of the recent emergence of new psychoactive substances (NPS)-”, 9th FAOPS Congress (2019.3.29)

佐藤陽治, 「『医薬研究の立場からPMDAに期待すること』再生医療等製品の品質・安全性評価のためのレギュラトリーサイエンスから」, PMDA新任者研修 (2018.4.26)

佐藤陽治, 「再生医療製品(細胞加工製品)の品質・安全性の確保と実用化のための産学官連携」, 平成30年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2018.7.30)

佐藤陽治, 「多能性幹細胞加工製品の造腫瘍性評価に関する多施設共同研究～再生・細胞医療の事業化におけるレギュラトリーサイエンスの役割～」, 再生医療ビジネスシンポジウム in KPP Part XI (2018.7.31)

佐藤陽治, 「再生医療の安全性上のリスクはどこにある?」, 文部科学省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」市民シンポジウム「再生医療・遺伝子治療を考える～新しい医療をつくるために必要なこと～」 (2018.8.5)

佐藤陽治, 「ヒトES/iPS細胞由来移植細胞の造腫瘍性評価について」, 2018年度第5回慶應義塾特定認定再生医療等委員会 (2018.8.7)

佐藤陽治, 「細胞加工製品の造腫瘍性の評価法の開発」, 関西再生医療産業コンソーシアム(KRIC)第5回「再生医療関連技術を活用した動物代替法検討会」 (2018.10.3)

佐藤陽治, 「再生医療等製品の原料としてのヒト多能性幹細胞のための品質特性解析ツールの開発」, BioJapan2018/再生医療JAPAN2018ランチョンセミ

ナー (2018.10.12)

佐藤陽治, 「NRMD: National Regenerative Medicine Database—再生医療等臨床研究・市販後調査のためのデータベース—」, BioJapan2018/再生医療JAPAN2018 (2018.10.12)

佐藤陽治, 「再生医療製品の品質・安全性確保と実用化のための産学官公連携」, Innovation Hub 2018 in Tonomachi (2018.10.16)

佐藤陽治, 「規制科学 (レギュラトリーサイエンス) って何? 「再生医療の安全性上のリスクはどこにある?」, 文部科学省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」市民講座 (愛媛) (2018.10.8)

佐藤陽治, 「再生医療等製品 (細胞加工製品) の実用化のための課題と試験法開発」, 平成30年度国立保健医療科学院院外研修プログラム (2018.11.5)

佐藤陽治, 「再生医療等製品 (細胞加工製品) の品質・安全性確保のための科学と規制」, 平成30年度薬学振興会先端創薬科学講座セミナーコース (2018.11.16)

佐藤陽治, 「MCPを正しく理解する・後編 (補遺)」, 平成30年度神奈川県立産業技術総合研究所教育講座 (2018.11.30)

佐藤陽治, 「再生医療等製品 (細胞加工製品) に関する日本の制度とその課題」, AMED「再生医療の実現化ハイウェイ」課題D勉強会 (2018.12.11)

佐藤陽治, 「規制科学 (レギュラトリーサイエンス) って何? 「再生医療の安全性上のリスクはどこにある?」, 文部科学省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」市民講座 (岩手) (2018.12.2)

佐藤陽治, 「MCP (ヒト細胞加工物の品質及び安全性評価に共通の基本となる技術要件・基準指針) の考え方」, 第2回認定再生医療等委員会教育研修会 (東京会場) (2018.12.22)

佐藤陽治, 「MCP (ヒト細胞加工物の品質及び安全性評価に共通の基本となる技術要件・基準指針) の考え方」, 第2回認定再生医療等委員会教育研修会 (大阪会場) (2019.1.13)

佐藤陽治, 「規制科学 (レギュラトリーサイエンス) って何? 「再生医療の安全性上のリスクはどこにある?」, 文部科学省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」市民講座 (出雲) (2019.2.17)

佐藤陽治, 「日本の再生医療を取り巻く環境と取り組むべき課題」, グローバル・ネットワーク協議会再生医療分野支援ネットワーク構築会議 (2019.2.19)

佐藤陽治, 「MCP (ヒト細胞加工物の品質及び安全性評価に共通の基本となる技術要件・基準指針) の考え方」, 第6回再生医療資格認定講習会 (2019.3.24)

安田智, 「一般毒性試験はどのくらい必要なのか? —「指針上での書かれ方」と「現実の運用」を比較する—」, 第3回DIA再生医療製品・遺伝子治療用製品シンポジウム (2018.12.13)

Yasuda S, “Development of ATMP in Japan and Thailand”, FDA Thailand seminar on review and post-marketing safety on ATMP (2019.1.18)

遊佐敬介, 「ディープシーケンス法を用いたセルバンクのウイルス安全性評価」, 第19回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2019.2.9)

河野健, 「ウイルスベクターを利用した造腫瘍性未分化ES/iPS細胞の高感度検出法の開発」, 第19回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2019.2.9)

吉田徳幸, 「核酸医薬品開発の現状・課題・国内外の規制動向と品質管理及び安全性評価のポイント」, 情報機構セミナー (2018.4.13)

井上貴雄, 「核酸医薬品開発における安全性評価/オフターゲット効果評価法」, サイエンス&テクノロジーセミナー (2018.4.23)

井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と品質・安全性評価」, COINSセミナー (2018.4.24)

内藤幹彦, 「IAPのユビキチンリガーゼ活性を利用した標的蛋白質分解誘導剤SNIPERの開発」, 日経バイオテクプロフェッショナルセミナー 低分子薬の新たなモダリティ: 標的蛋白質分解誘導薬の最前線 (2018.5.29)

井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と規制整備の現状」,

第2回バイオ医薬EXPO専門セミナー (2018.6.27)

井上貴雄,「核酸医薬 入門編」,第31回インターフェックスジャパン セミナー (2018.6.28)

吉田徳幸,「核酸医薬品の規制動向と品質/安全性評価におけるポイント」,R&D支援センター主催セミナー (2018.7.27)

吉田徳幸,「核酸医薬品開発の動向・課題・国内外の規制動向の整理と品質/安全性評価の考え方」,情報機構核酸医薬開発セミナー (2018.8.24)

鈴木孝昌,「遺伝子診断薬およびコンパニオン診断薬」,情報機構セミナー (2018.9.12)

内藤幹彦,「SNIPERによるプロテインノックダウン技術の開発」,理研第4回DMP創薬ワークショップ (2018.11.15)

内藤幹彦,「細胞内の標的タンパク質を分解するプロテインノックダウン技術の開発」,IMC微生物化学研究所セミナー (2018.12.4)

井上貴雄,「離陸した核酸医薬(次なる創薬モダリティの本命)はどこに向かうのか」,第17期バイオファイナンスギルド 第5回セミナー (2018.12.7)

吉田徳幸,「核酸医薬品の開発・規制動向の現状と品質/安全性評価の考え方」,情報機構 核酸医薬開発セミナー (2018.12.7)

井上貴雄,「核酸医薬品の規制整備の現状と課題」,日本核酸医薬学会レギュラトリーサイエンス部会サテライトシンポジウム2018 (2018.12.11)

内田恵理子,「ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療に関する海外の規制状況」,第2回PMDA科学委員会ゲノム編集専門部会 (2018.12.25)

井上貴雄,「核酸医薬:次なる創薬モダリティの本命」,クラスター・概算合同シンポジウム (2019.1.28)

井上貴雄,「オフターゲット遺伝子をどのように抽出し,どのように扱うか」,日本製薬工業オフターゲット懇談会 (2019.2.7)

井上貴雄,「既承認核酸医薬品の審査報告書を読み解くー趣旨説明と予備知識ー」,第11回核酸医薬RSシンポジウム (2019.2.13)

井上貴雄,「核酸医薬開発の現状と安全性評価の考え方」,SNBLセミナー2019 (2019.2.22)

中岡竜介,加藤玲子,靄島由二,「AI技術を用いた医療機器の評価に関して:次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業人工知能分野審査WGによる評価指標案の概要について」,国立がん研究センター勉強会 (2018.4.3)

中岡竜介,加藤玲子,靄島由二,「次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業人工知能分野審査WGによる評価指標案の概要と国内外の現状について」,厚生労働省第4回AI勉強会 (2018.6.21)

中岡竜介,靄島由二:国際標準化と医療機器規制の関係.日本セラミックス協会生体材料関連部会創立20周年記念講演会 (2018.10.25)

宮島敦子,植松美幸,靄島由二,「再製造SUD基準策定等事業ー洗浄ガイドラインの策定についてー」,第21回医療材料マネジメント研究会シンポジウム (2019.1.27)

中岡竜介,「ISO/TC 150(外科用インプラント)/SC 7(再生医療機器)の国際標準化状況」,平成31年「ISO/TC 150(外科用インプラント)とバイオセラミックスの標準化の状況」講演会 (2019.1.30)

宮島敦子,植松美幸,靄島由二,「再製造単回使用医療機器(SUD)に係る洗浄ガイドラインの策定について」,第34回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム (2019.3.7)

小林憲弘,「水道水質基準と検査方法の改正について」,水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018(福岡会場) (2018.4.13)

小林憲弘,「妥当性評価ガイドラインの改定について」,水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018(福岡会場) (2018.4.13)

小林憲弘,「水道水質基準と検査方法の改正について」,水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018(大阪会場) (2018.4.18)

小林憲弘,「妥当性評価ガイドラインの改定について」, 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (大阪会場) (2018.4.18)

小林憲弘,「水道水質検査方法の改正と妥当性評価ガイドラインの改定」, 水道水質・環境分析セミナー2018 (2018.4.20)

小林憲弘,「水道水質基準と検査方法の改正について」, 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (大宮会場) (2018.4.25)

小林憲弘,「妥当性評価ガイドラインの改定について」, 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (大宮会場) (2018.4.25)

小林憲弘,「水道水質検査方法の改正ポイントおよび妥当性評価ガイドラインの改定内容」, 水道水質分析セミナー2018 (東京会場) (2018.4.26)

小林憲弘,「水道水質検査方法の改正ポイントおよび妥当性評価ガイドラインの改定内容」, 水道水質分析セミナー2018 (大阪会場) (2018.5.9)

小林憲弘,「水道水の検査について」, 市民公開講座:「安全な水道水をめざしてー水質基準に関する研究の最前線」 (2018.5.12)

小林憲弘,「水質検査の現状の課題と最新の検討状況」, 第27回環境化学討論会 自由集会「水質検査の将来のあり方について考える (その2)」 (2018.5.23)

小林憲弘,「水道水質検査方法の改正ポイントおよび妥当性評価ガイドラインの改定内容」, 水道水質分析セミナー2018 (名古屋会場) (2018.7.26)

小林憲弘,「水道水質基準と検査方法の改正に関する最新情報」, 平成30年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会 (2018.8.31)

小林憲弘,「水道水質検査方法の改正に関する最新情報」, 平成30年度 飲料水検査技術研修会 (2018.9.6)

小林憲弘,「水道水質検査のためのGC/MSスクリーニング分析法の開発と適用」, 環境科学会2018年会 シンポジウム「スクリーニング分析法を用いた水道水質検査」 (2018.9.11)

田原麻衣子,「環境分析における定量値の信頼性評価に関する研究」, 環境科学会2018年会 (2018.9.11)

小林憲弘,「水道水質検査方法の精度管理について」, 平成30年度水道水質検査技術研修会 (2018.10.18)

小林憲弘,「水道水質検査方法の妥当性評価ガイドラインの改定について」, 平成30年度水質検査に関する研修会 (2018.10.19)

酒井信夫,「室内空気の規制に関する最新情報」, 第55回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2018.11.30)

小林憲弘,「水道水質基準と検査方法に関する最新情報」, 第55回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2018.11.30)

秋山卓美,「化粧品及び医薬部外品の製造販売, 効能・効果と安全性」, 第6回医工マッチング例会 (2018.12.14)

小林憲弘,「平成31 (2019) 年度厚生労働省精度管理調査について」, 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2019.2.27)

小林憲弘,「水道水質検査方法と精度管理に関する最新の話題」, 平成30年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2019.3.5)

酒井信夫,「我が国における食物アレルギー表示制度について」, 平成30年度育児用品衛生連絡協議会 (2019.3.8)

小林憲弘,「水質管理・水質異常での応用例2」, 新しい水質分析に関するワークショップ ～水道への展開～ (2019.3.22)

穂山浩,「食品添加物の安全性を科学的に学ぼう」, 品川区保健所講習会 (2018.7.24)

Hiroshi Akiyama,「Division of Foods National Institute of Health Sciences, Japan」, Wageningen University & Research 博士課程海外研修プログラム講習会 (2018.7.26)

穂山浩,「食物アレルギーについての表示制度と研究動向」, 食品添加物技術フォーラム (2018.8.2)

根本了,「食品中の残留農薬等の公示試験法の開発について」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会H30年度残留農薬等研修会 (2019.1.18)

穂山浩,「知りたい!聞きたい!残留農薬」, 世田谷区食の安全・安心区民会議 (2019.2.5)

穂山浩,「学術論文の読み方,書き方(基本編):Regulatory Scienceにおける論文の意味を踏まえて」,平成30年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2019.2.18)

Miura T, Sugimoto N, “Quantitation paradigm and preparation of quantitative reference standards”, AOAC 132nd Annual Meeting, Symposium: Practicality of quantitative NMR in quality control (2018.8.29)

Sugimoto N, “Development of single-reference HPLC quantitative analysis for chemical compounds derived from natural sources based on relative molar sensitivity”, 2018 APEC workshop on food safety and food adulterated with drugs (2018.9.13)

Sugimoto N, Saito T, Miura T, New Proposal regarding “Quantitative nuclear magnetic resonance spectroscopy — Quantification of reference compounds used for foods and food products — General requirements”, ISO/TC34 plenary meeting (2018.10.19)

Sugimoto N, “Overview of food additive regulation in Japan”, 1st TISTR and JAIMA conjoint conference (2018.11.13)

杉本直樹,「天然添加物の品質保証:qNMRの応用と展開」,第55回植物化学シンポジウム (2018.11.20)

杉本直樹,「qNMR法の国際標準化による波及効果」,日本薬学会 第139年会(一般シンポジウム「品質評価(Quality)のレギュラトリーサイエンスと分析科学の新機軸」) (2019.3.20)

六鹿元雄,「器具・容器包装の規制と自主的管理のあり方について」,厚生労働省 平成30年度食品安全行政講習会 (2018.6.27)

六鹿元雄,「我が国と欧米の器具・容器包装(食品接触材料)に関する規制等について」,日本輸入食品安全推

進協会第三回勉強会 (2018.7.30)

六鹿元雄,「器具・容器包装のPL化について」,第34回食品化学シンポジウム (2018.11.1)

六鹿元雄,「器具・容器包装の試験法に係る検討事項について」,公益社団法人日本食品衛生協会 器具・容器包装研修会 (2018.11.30)

六鹿元雄,「器具・容器包装のPL化について」,育児用品衛生連絡協議会講習会 (2019.3.8)

阿部裕,「紙製品中の蛍光物質の検査法について」,公益社団法人日本食品衛生協会 器具・容器包装研修会 (2018.11.30)

渡辺麻衣子,「住宅室内のダニ・カビ汚染と居住者のアレルギー」 高分子学会北陸支部講演会—生物・環境と高分子— (高分子学会北陸支部) (2019.3.4)

蜂須賀暁子,「食品の安全性について一緒に考えてみませんか」,平成30年度 食と放射能に関する説明会 (2019.2.2)

蜂須賀暁子,「食品の安全性について一緒に考えてみませんか」,平成30年度 食と放射能に関する説明会 (2019.2.25)

近藤一成,「新たな遺伝子組換え生物への対応」,第65回日本生薬学会シンポジウム (2018.9.16)

近藤一成,「新たな育種技術について」 全国消費者団体連絡会 (2018.12.14)

畝山智香子,「食品安全の考え方～食品添加物から健康食品まで～」,食品添加物メディアフォーラム (2018.4.10)

畝山智香子,「安全な食品ってなんだろう?～リスクのものさしで考える～」,アメリカ大使館農務部メディア懇談会 (2018.4.26)

畝山智香子,「食品安全情報の探し方」,平成30年度全国地方衛生研究所長会議 (2018.6.7)

畝山智香子,「安全な食品とは何か?～リスクのものさしで考える～」,食の安全を確保するための微生物検査

協議会総会 (2018.6.13)

畝山智香子, 「リスクアナリシスで考える残留農薬」,
食のリスクコミュニケーション・フォーラム2018
(2018.6.24)

畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える ～食品
中に含まれる様々な発がん物質のリスクについて～」,
食と放射能に関する説明会 (2018.7.25, 2019.3.2)

畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える～
ゼロリスクという幻想～」, 毎日新聞食育セミナー
(2018.7.26)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」,
大津市食の安全講座 (2018.10.9)

畝山智香子, 「安全な食品とは何か? ～リスクのものさ
しで考える～」, 慶應義塾大学公認団体Front Runner平
成30年度第4回勉強会 (2018.10.5)

畝山智香子, 「健康食品を食べたら健康になるの?」,
HABセミナー (2018.10.13)

畝山智香子, 「食品添加物のリスク評価と管理」, 食の安
全・安心財団意見交換会 (2018.11.7)

畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」,
東京都平成30年度 第3回食品技術講習会 (2018.11.16)

畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える」, イン
スタントラーメン「健康と栄養」セミナー (2018.12.16)

畝山智香子, 「健康食品による健康被害について」, 第45
回社福協健康食品フォーラム (2019.2.5)

畝山智香子, 「安全な食べものってなんだろう? ～リス
クのものさしで考える～」, コープながの食の安全学習
会 (2019.2.18, 2019.2.21)

畝山智香子, 「健康食品は安全なの?」, 平成30年 消費
者団体と東京都との協働による学習会 (2019.2.25)

畝山智香子, 「安全な食べものってなんだろう? ～リス
クのものさしで考える～」, 平成30年度岩手県食の安全
安心リスクコミュニケーション (2019.2.28)

渡邊敬浩, 「食品検査の基本－サンプリングと分析, そ
して品質保証－」, 平成30年度食品衛生検査施設信頼性
確保部門責任者等研修会 (2018.6.28)

渡邊敬浩, 「試験所の能力の証明－業務管理要領の改定
に向けて－」, 平成30年度食品衛生検査施設信頼性確保
部門責任者等研修会 (2018.6.28)

渡邊敬浩, 「心配の優先度を考える－有害物質の摂取量
推定を題材に－」, 第1回食肉フォーラム (2018.8.3)

渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること」, 群馬
県平成30年度精度管理研究会 (2019.1.17)

渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること」, 第38
回福島県試験検査技術発表会 (2019.1.30)

渡邊敬浩, 「国際整合性を踏まえた業務管理要領改定
案」, 平成30年度(一社)食品衛生登録検査機関協会業
務管理研修会(東京) (2019.2.8)

渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること－我が
国の試験所のこれからに必要なこと－」, 食品分析セミ
ナー (2019.2.12)

渡邊敬浩, 「国際整合性を踏まえた業務管理要領改定
案」, 平成30年度(一社)食品衛生登録検査機関協会業
務管理研修会(広島) (2019.2.22)

渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること－我が
国の試験所のこれからに必要なこと－」, 平成30年度検
査精度管理業務研修会 (2019.3.7)

登田美桜, 「有毒植物による食中毒の最近の傾向」, 農林
水産省消費・安全局平成30年度食品安全にかかる科学セ
ミナー・アドバンストコース研修 (2018.10.26)

登田美桜, 「自然毒食中毒に関する最近の話題」, 平成
30年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会
(2018.11.9)

登田美桜, 「有毒植物による食中毒について」, 平成30年
度長崎県食品の安全・安心リスクコミュニケーション
(2018.10.31, 11.1)

登田美桜, 「食品安全情報(化学物質)から2018年の話
題」, 平成30年度地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静

支部理化学研究部会 (2019.2.22)

南谷臣昭, 登田美桜, 「野草や山菜などの自然毒について」, 東海農政局 平成30年度食品安全セミナー (2019.3.13)

齋藤嘉朗, 「Scientific insights about ethnic factors」, PMDA-Asia Training Center Multi-Regional Clinical Trial Seminar 2019 (2019.1)

齋藤嘉朗, 「官民共同による重篤副作用バイオマーカー開発」, AMED「オールジャパン医薬品創出」公開シンポジウム (2019.3)

高橋祐次, トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー: 肺・呼吸器の毒性変化を考えるナノマテリアルの毒性: 肺毒性を中心として, 第19回日本毒性学会生涯教育講習会 (2018.7.17)

高橋祐次, 毒物劇物の判定にどう代替法を用いるか: 代替法利用における留意点, 日本実験動物代替法学会技術講演会 (2018.8.2)

諫田泰成, 「産官学の連携による新たな薬理試験法の開発～殿町地区との連携と今後の展望～」, 衛研シンポジウム講演 (2018.7.23)

諫田泰成, 「JiCSA update: Comparison between JiCSA and CiPA on 28 compounds」, HESI cardiac stem cell group webinar (2018.7.25)

高須伸二, 「投票型症例報告」, 日本毒性病理学会第19回教育セミナー (2018.11.10)

Shihori Tanabe, 「The epithelial-mesenchymal transition and brain tumor –the link between molecular biology and brain tumor.」, Brain Tumor Research Forum (2018.10.1)

小島肇: 動物実験代替法の現状について, 第6回IET情報交換会 (2018.7.6)

小島肇: 幹細胞を活用した動物実験代替法の動向, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム (2018.7.12)

小島肇: OECD TG とJaCVAM提案書の現状, 日本動物実験代替法学会技術講習会「毒物劇物の判定にどう代替法を用いるか」 (2018.8.2)

小島肇: 皮膚・粘膜毒性, 光毒性, 代替試験法, 第21回日本毒性学会基礎教育講習会 (2018.8.7)

足利太可雄: 動物実験代替法開発の現状と化粧品の安全性保証, 先端化粧品科学シンポジウム (2018.8.23)

小島肇: 化粧品の安全性と評価, 東京理科大学オープンカレッジ「化学品を支える科学と技術の基礎」 (2018.9.1)

広瀬明彦: 微量曝露化学物質のリスク評価手法について, ポリオレフィン等衛生協議会セミナー (2018.12.6)

広瀬明彦: 毒性評価に基づいた水質基準値について, 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「水道水質の評価及び管理に関する総合研究」市民公開講座「安全な水道水をめざして－水質基準に関する研究の最前線」 (2018.5.12)

山田隆志: 化学物質の有害性評価のためのin silico評価技術の現状と活用推進へ向けた課題, ILSI-Japan食品リスク研究部会講演会 (2018.4.27)

Takashi Yamada, Category-based Read-across Approach, Considering Human Relevance, International Workshop of Food Safety Commission of Japan: Future Challenges in Developing Assessment Methodologies for Human Health Effects (2018.11.14)

山田隆志: 化学物質の毒性データベースの開発とin silico安全性予測評価手法の活用推進へ向けた課題, 幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム (2019.2.15)